

平成30年度独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 研究協力者・研究協力機関公募課題一覧

【言語班】（研究協力者・研究協力機関の募集）

番号	研究課題名	期間	研究の概要	公募対象と特記事項
1	基幹研究(障害種別研究) 「言語障害のある中学生への指導・支援の充実に関する研究」	平成 30～ 平成 31 年度 (2か年)	<p>言語障害教育は、平成 5 年の通級による指導の制度化以降 25 年が経過し、小学校の指導体制は充実してきた。平成 30 年 4 月より、高等学校における通級による指導が開始される。しかし、以前より中学校の言語障害特別支援学級及び通級指導教室（以下「ことばの教室」とする）の設置数の少なさが課題となっている。これまでの調査や予備的研究から、小学校のことばの教室に通っていた児童の約 6 割が、中学校では特に支援を受けていない現状、思春期を迎えた生徒に対する指導の困難さ、小学校のことばの教室で中学生を指導している実態等が明らかになった。今後、切れ目のない連続した学びを実現するために、言語障害のある中学生のニーズにあった指導・支援内容や体制の充実は、喫緊の課題となっている。</p> <p>本研究では、ことばの教室に通う言語障害のある中学生段階の生徒が必要とする指導・支援内容、体制について明らかにし、言語障害のある中学生への支援を充実させるための方策を考察・整理する。</p> <p>研究にあたっては、平成 29 年度の予備的研究で収集した言語障害のある中学生に対する指導内容・方法の情報を基に、ことばの教室担当教員及びことばの教室に通う中学生や小学校 6 年生に質問紙調査を行う。収集した情報から、言語障害のある中学生が必要とする指導や支援内容、体制について分析・整理する。また、言語障害のある中学生を指導していることばの教室に研究協力を依頼し、事例研究をとおして必要な指導・支援の内容、体制の在り方について明らかにし、総合的に検討する。</p> <p>言語障害のある中学生の指導・支援内容、体制の在り方を明らかにすることにより、高等学校段階の言語障害のある生徒への支援の在り方についての一助となり、今後の言語障害教育の充実に寄与することになる。</p> <p>研究成果は、研究会、学会等で発信するとともに、成果報告書を各地域の中学生を指導することばの教室や都道府県教育委員会、市区町村教育委員会、親の会等に配布し、今後の言語障害教育の充実に向けた施策推進の参考に供する。</p>	<p>研究協力者・機関</p> <p><公募する研究協力の対象者・機関と研究協力者・機関数></p> <p>○中学校及び小学校のことばの教室の担当教員 ・2名程度</p> <p>○ことばの教室を設置している中学校及び小学校 ・2機関程度</p> <p><特記事項></p> <p>○研究協力者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語障害のある中学生の指導経験があることばの教室担当教員 ・2年間、事例研究に協力できることばの教室担当教員 <p>○研究協力機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語障害のある中学生が通っている中学校のことばの教室 ・言語障害のある中学生や小学校 6 年生が通っている小学校のことばの教室 ・2年間、事例研究に協力できることばの教室

以上